

平成 25 年 2 月 26 日 00107 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】 武道館建設工事現場より

武道館建設現場では、日中でも氷点下の気温の中、着々と工事が進められています。

現在、1階部分の壁や柱の工事が行われ、鉄筋製作やコンクリート打設に大型機械などを使って作業されていました。右の写真から、奥の白いシールドで覆われたところが1階道場・2階道場部で、手前の型枠が組



まれているところが弓道場の塚(あずち)や研修室などになります。昔は冬期間での建設工事は行われないうのが一般的と聞いていましたが、技術力の進歩からか、いまは支障がないと伺っています。従事されている工事関係者の方々には、寒い中、ご苦労されていることと思いますが、予定どおりの武道館の完成を目指して頑張ってくださいと願うところです。工事中の安全をお祈りいたします。

## 【事務局連絡】 ※平成 24 年度 NPO 法人北見市武道振興協会年会費納入の御案内※

来月 3 月 31 日をもって当 NPO 法人の決算を迎えます。これにあたり、平成 24 年度年会費の納入を北見信金当協会口座振込み若しくは、協会事務局まで御願い致します。期日は、**3 月 31 日(日)まで**とさせていただきますので、期日厳守で御願い致します。尚、各団体事務局様に於きましては、「北見市武道振興協議会会費」とお間違えの無いよう御願い致します。(事務局山本)

## 連載 宮本武蔵の「五輪書」 七 兵法心持の事 水之巻

兵法の道において、心の持ちようは日常の心と変わってはならない。日常でも、戦いのときでも、少しも変わることなく、心を広く真っすぐにして、緊張も弛緩もせず、心が偏らないように真ん中に置き、自由自在な状態を保つよう、よく考えるように。戦いが静かなときでも心を休めず、戦いが激しいときでも心を慌てさせない。心が体の動きに引きずられることなく、また身体の動きが、心に引きずられてもならない。心をしっかりともち、体を気にしすぎないようにする。心を充実させて余計なことは考えず、外見は弱くても、心は強くもち、その心を他人に悟られないようにせよ。体の小さい者は、大きい者の心を理解し、身体の大きいものは、自分を鼠目で見ないよう、心をもつことが肝要である。心のなかを濁らせず、広くする。その広き場所へ、知恵(思考)を置かねばならない。知恵も心も、ひたすら磨くようにせよ。知恵を研ぎ、天下正邪をわきまえ、物事の善悪を知り、さまざまな道を体験し、世間の人に少しも騙されないようになって、やっと兵法の知恵となるのである。兵法の道には、とりわけ違うものがある。戦場で万事せわしない時でも、兵法の道理を究めるようにせよ。不動心を得る為に、よく考えてもらいたい。つづく